



宮崎市立高岡中学校 1年

景観教室レポート



景観は、海、山、川などの自然環境、建物や道路など目に映るまちの姿だけでなく、雰囲気や文化歴史などの印象を含め、生活空間や環境そのものであり、都市の個性や文化水準を表すものです。

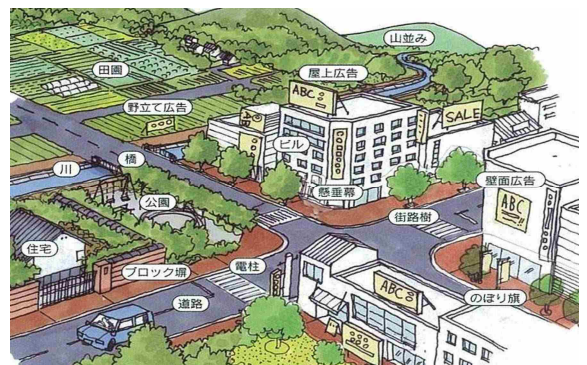
高岡中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識を向上、郷土への愛着を図ることを目的として、平成27年6月・7月に、宮崎市景観課と(一社)宮崎県建築士会の協力により、1年生62名を対象とした『景観教室』を、計4回行いました。

第1回「景観を知る」 6月4日(木) 5・6時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、建築士会の工藤さんより、基礎的な授業が行われました。

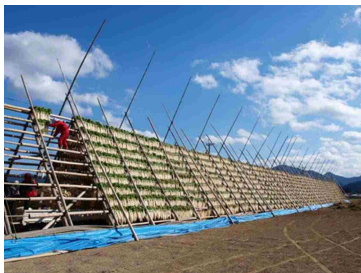
自然や建物など、国内や世界の景観写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・事業所」が協力することが大切なことを知りました。



自然・道路 (ワシントンパーム)



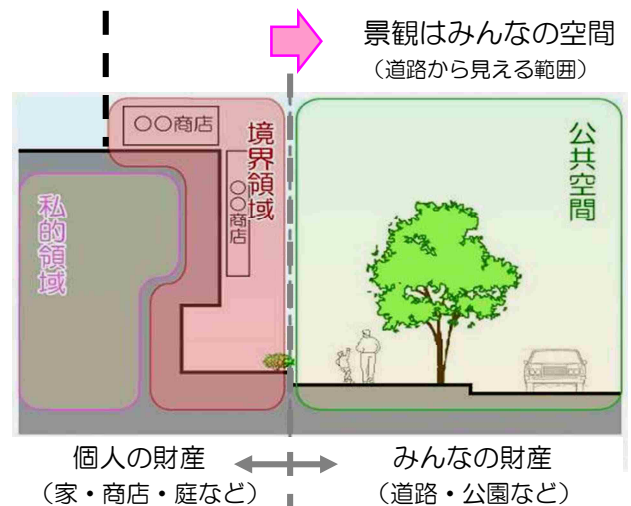
建築物 (宮崎県庁本館)



産業 (田野町にある大根やぐら)



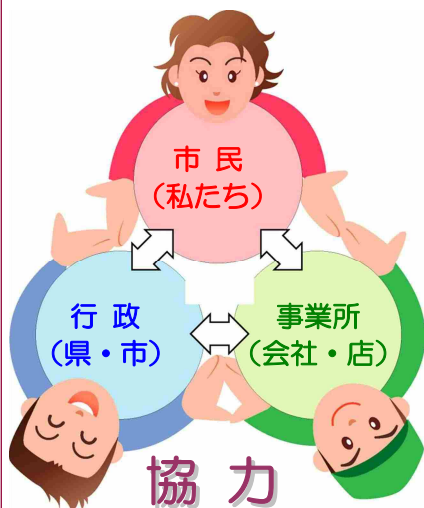
歴史 (高岡町にある武家門)



☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史…

②景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



授業をして頂いている
建築士会の工藤さん



みんな真剣に聞いてます。

■ 高岡のイメージを探る～マインドマップ作成～

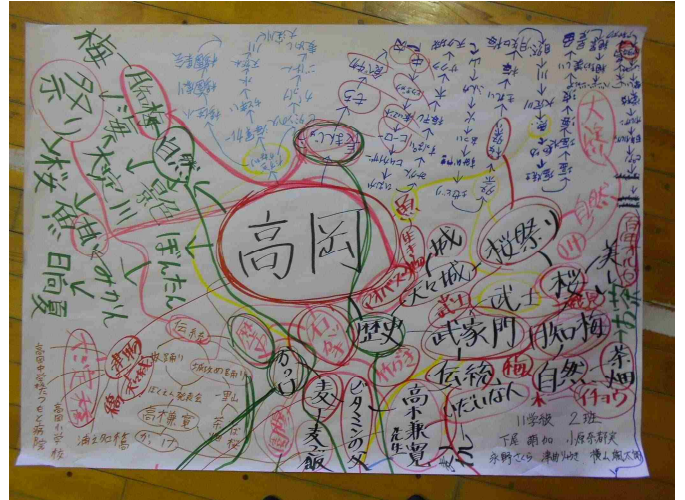
後半は、「マインドマップ（連想図）」づくりです。心（マインド）の中で思っている言葉を地図（マップ）のように自由に書いて、イメージをふくらませるものです。この「マインドマップ」という手法を用いて、「高岡」をイメージする言葉を自由に書き出し、この中から「高岡の景観」でイメージされる最も印象的な言葉を各班ごとに1つ選び、発表しました。



マインドマップ作成の様子。「高岡」をイメージする言葉を書き出しています。



班ごとに発表。「高岡」をイメージする言葉を100個以上あげている班もありました。



出来上がったマインドマップ
(言葉が枝葉状に描かれます)

★マインドマップ（連想図）を通じて、「高岡」をイメージするきっかけとなりました。

「高岡」といえば・・・天ヶ城、武家門、石垣、
月知梅、などなど・・・

第2回「景観を考える」 6月16日（火）5・6時間目

■ 高岡の将来像を考える～20年後も住みたいまち。高岡！～

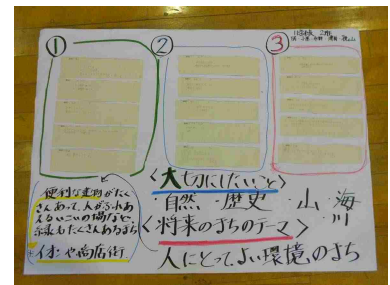
「20年後も住みたいまち。高岡！」をテーマに①「20年後の自分は何をしていますか？」、②「高岡のまちで大切にしたいこと」、③「20年後、どんなまちになっているといいですか？・どんなことができると楽しそうですか？」について考えました。その後、各班ごとに意見をまとめて発表しました。



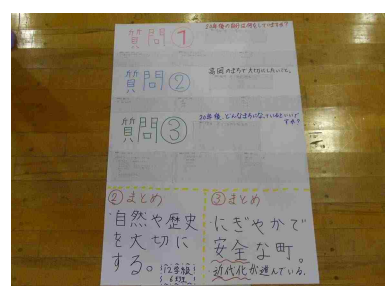
←各班にわかれて作業中です。意見を出し合っています。



←班ごとに意見をまとめて発表しました。



←各班とも高岡の将来を真剣に考えました。



第3回「景観を調べる」 6月25日(木) 5・6時間目

■ 「高岡の景観」まち歩き

歴史的街なみの残る高岡のまち歩きを行いました。
生徒の皆さんは6班に分かれて、高岡中学校周辺の気になる景観を探して、メモ用紙に記録しました。



↑途中、雨が降り出しましたが、生徒の皆さんは、真剣にメモを取っていました。



↑まち歩きのコース



学校に戻り、歩いた中で感じた景観を各班にわかれまとめました。

第4回「景観を表現する」 7月6日(月) 5・6時間目

■ 景観教室まとめ

これまでの内容をふまえ「高岡」の将来像を模造紙に各班まとめました。カラーの用紙や写真等を使い各班の個性を出しています。

最後に班ごとの発表を行いました。

今回の景観教室を通して、皆さん景観に対する理解が深まりました。

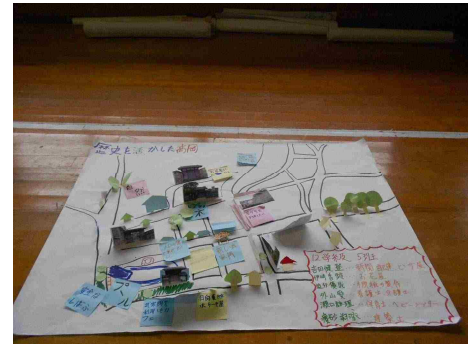
■ 授業の最後に・・・



↑ 班ごとにわかれ最後のまとめ作業です。



↑ まとめた後、発表しました。



班ごとに特徴が出ている作品になりました。

☆☆ 記念撮影～みんな良い表情です～ ☆☆



■ 景観教室を終えて・・・皆さんの感想（一部を紹介します）

- 今回の景観教室を通して、もっと高岡の歴史や風景などにふれてみたいと思いました。本当にありがとうございました。
- 高岡のまち歩きでは昔から今までずっと残っているものが多く、びっくりしました。今まで何度も通ったことのある場所でもあまり風景など見ていなかったのそこにもびっくりしています。10年後、20年後以上たっても高岡の町は変わらないでほしいと思いました。
- 今回の景観教室で高岡の良い所をたくさん知れました。そして、景観を残していくことがとても大事だという事を学びました。
- 景観教室で「高岡の町」「武家門」の歴史を内容深く考えることができました。
- マインドマップでは、「高岡」ということを中心にいろいろな景観や関連しているものが出てきて、「高岡」というキーワードなのに、こんなにたくさんのおことが出てくるんだと驚きました。
- 今まで景観という言葉さえ知りませんでした。初めて景観という意味を教えてもらったときに、私たちに関係がないことではなく、とても身近にあるものでした。この高岡にある武家門や石垣などの歴史あるものをこれからも大切にしていきたいと思いました。
- 今まであまり高岡の景色をじっくり見たり考えたりはしてきませんでした。ですが、この景観教室の「まち歩き」で高岡のまちを歩いた時、様々な景観が見つかりました。高岡のまちがこんなに素晴らしいと思ったことはなかったです。

■ 景観教室を終えて

景観教室を通して、天ヶ城、武家門、錬士館、自然など、高岡町の歴史や自然など、たくさんの景観をつくっているものを見つけることが出来ました。景観教室の最後では、20年後自分が何をしているか？また、高岡のまちがどのようなになっていると良いかを想像してもらいました。とても短い時間でしたが、歴史や自然をしっかり残す。安心して暮らすために人の目が届くようにする。〇〇をつくって発展させたい。など、各班、とても素敵なアイデアを提案してくれました。

さて、これらのアイデアを実現していくのは、20年後の皆さんです！中学時代に過ごした高岡が、もっと人に自慢したくなるまちになるように、これから、今の自分たちにできることを少しずつ考えて、実行していくと良いと思いました。

今回、規律正しく、真っ直ぐな気持ちをもった皆さんとともに、高岡の町のことを考え、とても楽しく刺激になりました。ありがとうございました。これらも真っ直ぐな気持ちを大切に、夢に向かって一歩ずつ進んでいけるよう、応援しています。

(一社)宮崎県建築士会 工藤 登紀子